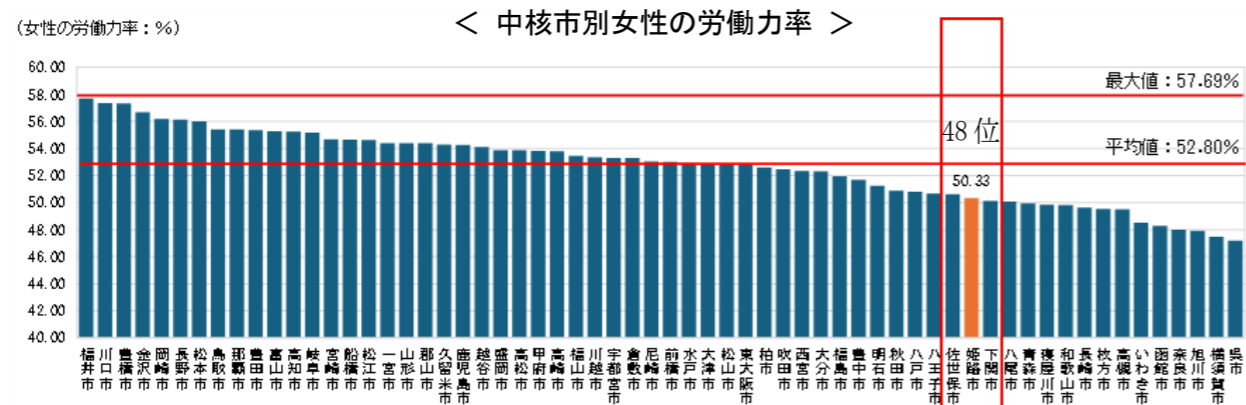


姫路市の女性就労に関する実態調査

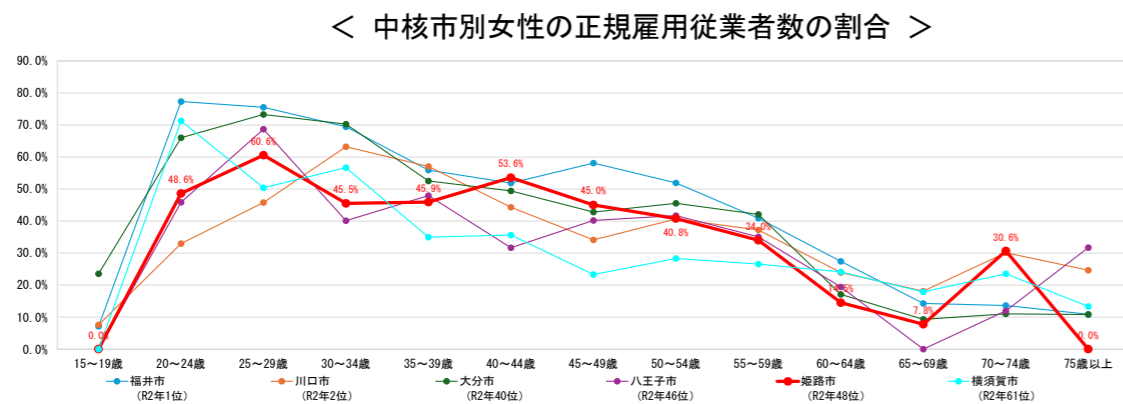
1. 本市の女性就労に関する現状

姫路市の女性の就労については、以下のような特徴があります。

- 姫路市の女性の労働力率は、中核市 62 市中 48 位と低い。(男性は、中核市平均に近い 34 位)
- 一般的に、女性の労働力率の高い年齢層である「25～29 歳」、労働力率の低い年齢層である「30～34 歳」「35～39 歳」ともに、労働力率が低い。また、「60 歳以上」でも低い傾向が見られる。
- 中核市、全国と比較して、未婚女性で年収 199 万円未満の割合が 46.2%と高く、25～39 歳の若年層で年収が低い傾向が見られる。
- 正規従業者割合が約 44%と低く、中核市で 50 位となっている。
- 全国と比較すると、20～39 歳の若い女性の正規雇用率が低い
[20～24 歳 : 48.6% (全国比△10.3%)、25～29 歳 : 60.6% (全国比△11.0%)、30～34 歳 : 45.5% (全国比△15.8%)、35～39 歳 : 45.9% (全国比△5.4%)]
- 全国と比較すると、34 歳以下の若い女性の初職が正規雇用の割合が低い
[15～24 歳 : 71.4% (全国比△7.2%)、25～34 歳 : 64.7% (△11.9%)]



出典：令和 2 年国勢調査 就業状態等基本集計 第 1 - 2 表
男女、年齢 (5 歳階級)、労働力状態別人口及び労働力率 (15 歳以上)、年齢別人口 (15 歳以上人口) - 全国、都道府県、政令指定都市、県庁所在都市、人口 30 万以上の市



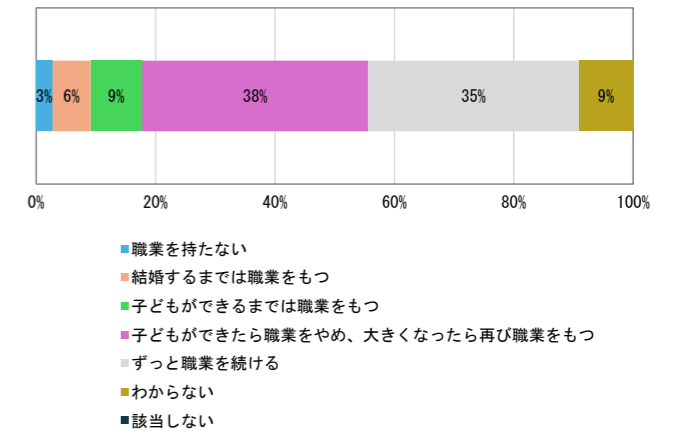
出典：令和 4 年就業構造基本調査 地域結果 第 2 3 表
男女、配偶関係、従業上の地位・雇用形態・起業の有無、所得 (主な仕事からの年間収入・収益)、年齢別人口 (有業者) - 全国、都道府県、政令指定都市、県庁所在都市、人口 30 万以上の市

2. 姫路市の女性の労働力率に影響を与えられる要因

1. 結婚や出産による離職

- ・ 男女共同参画に関する意識調査「ライフステージの変化と女性の就労の理想と現実」によると、女性の現実として、「職業をもたない」「結婚するまでは職業をもつ」「子どもができるまでは職業をもつ」「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ」の合計が 56% にのぼり、結婚や出産を機に退職しています。
- ・ また、子育てがひと段落した 45 歳くらいから再就職する傾向が強くなっています。

＜ ライフステージの変化と女性の就労の現実 ＞

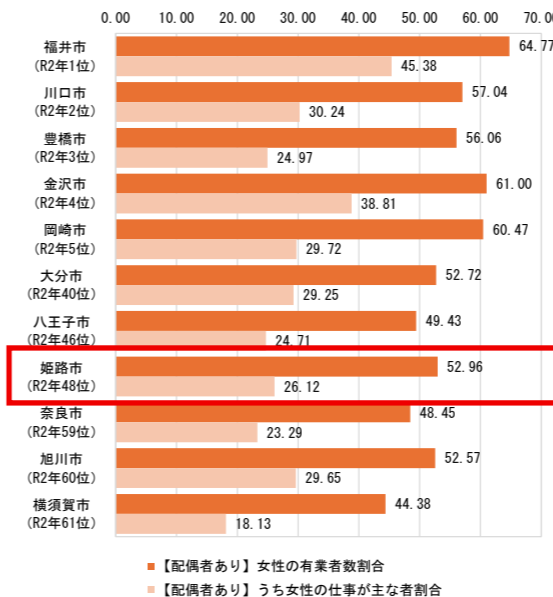


出典：男女共同参画に関する意識調査 (R7)

2. 家事の負担

- ・ 女性の労働力率が高い市では、配偶者のいる女性の有業者割合と、そのうち仕事が主な者の割合が高い傾向が見られますが、姫路市では、低くなっています。
- ・ 姫路市では配偶者がいる女性の就労意欲は高いものの「家庭の事情 (家事の負担、夫・子供の世話)」などによって就労できていないことがうかがえます。

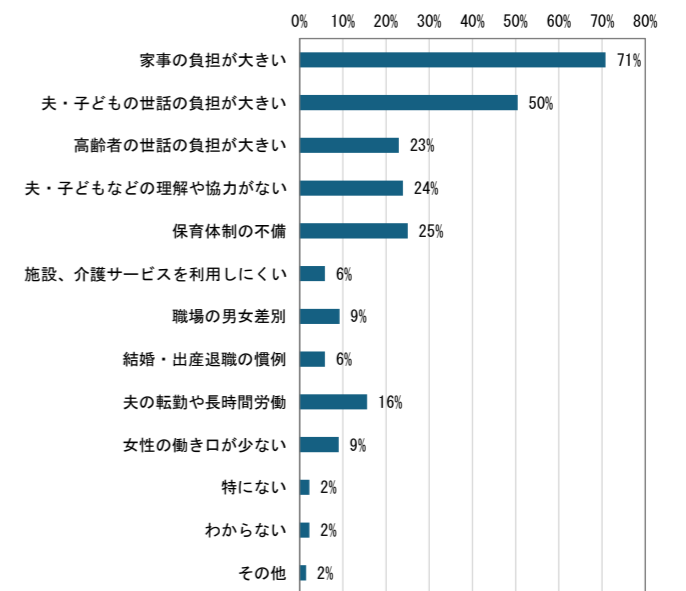
＜ 中核市別配偶者あり女性の有業者人口構成比 ＞
(令和 4 年)



■ 【配偶者あり】女性の有業者数割合
■ 【配偶者あり】うち女性の仕事が主な者割合

※仕事が主な者：有業者であって家事や通学等が主でない者のことを指す。
出典：令和 4 年就業構造基本調査 地域編 人口・就業に関する統計表 男女、配偶関係、就業状態・仕事の主従、年齢別人口 (15 歳以上人口) - 全国、都道府県、政令指定都市、県庁所在都市、人口 30 万以上の市

＜ 女性が働く上で支障となること (複数回答) ＞

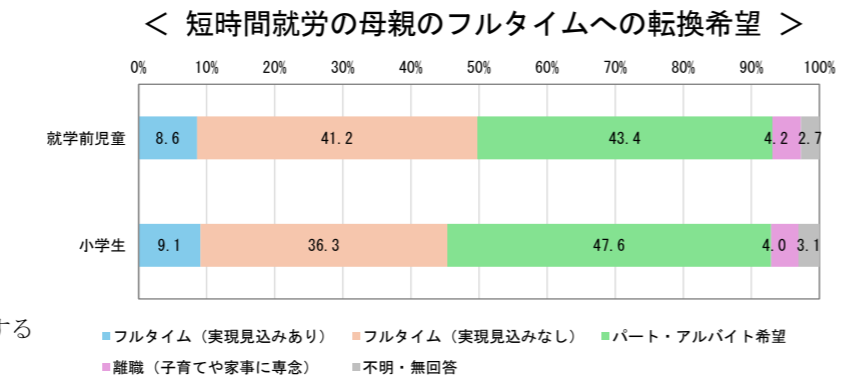
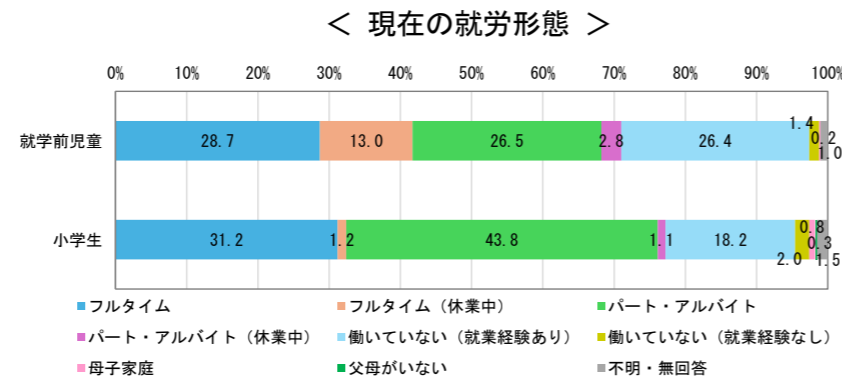


出典：男女共同参画に関する意識調査 (R7)

3. 女性が希望する就労形態

・姫路市子育て支援に関するアンケート調査によると、就学前児童をもつ保護者では「フルタイムで働いている」の割合が28.7%で最も高く、小学生をもつ保護者では「パートタイム、アルバイト等で働いている」の割合が43.8%で最も高くなっています。

・また、短時間就労をしている保護者の、フルタイムへの転換希望を見ると、「パートタイム・アルバイト等で働くことを希望している」の割合が高いほか、「フルタイムで働きたいが実現の見込みがない」の割合も高くなっています。



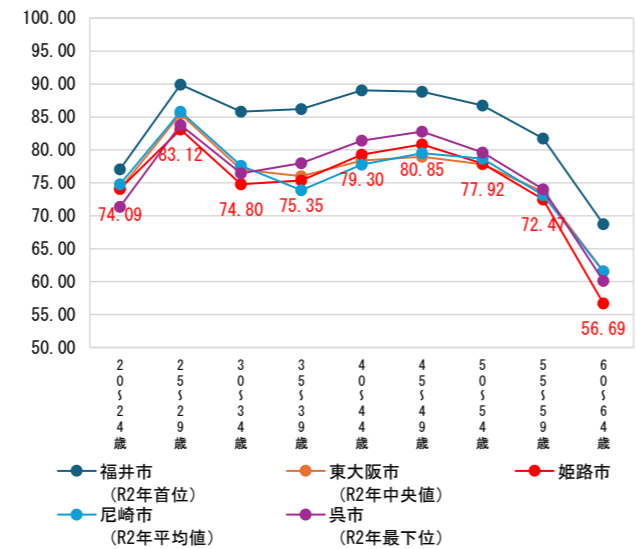
出典：姫路市子育て支援に関するアンケート調査 (R5)

4. 高齢女性の早期リタイヤ

・姫路市の55歳以上の女性の労働力率は、他都市に比べて低くなっており、子どもの独り立ちを機に早期リタイヤしていると考えられます。

・早期リタイヤにより、女性の労働力を十分に活かせていないと考えられます。

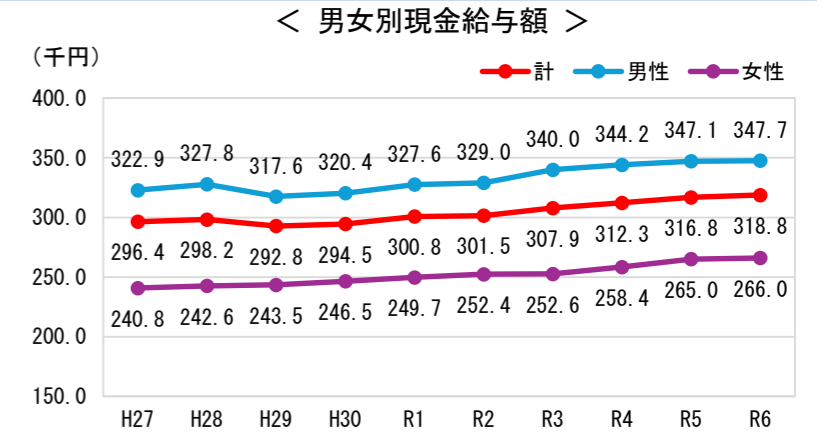
＜中核市別年代別女性の労働力率(令和2年)＞
[20～64歳]



出典：令和2年国勢調査 就業状態等基本集計 第1-2表 男女、年齢(5歳階級)、労働力状態別人口及び労働力率(15歳以上)

5. 女性の賃金の低さ

・兵庫県の一般労働者(パートタイム等短時間労働者除く)男女別賃金(所定内給与額)を年代別に見ると、ほとんどの年代で女性の方が低くなっています。男女の給与格差は、兵庫県で約8万円と、依然として大きい状況にあり、管理職への登用が進んでいないことがうかがえます。



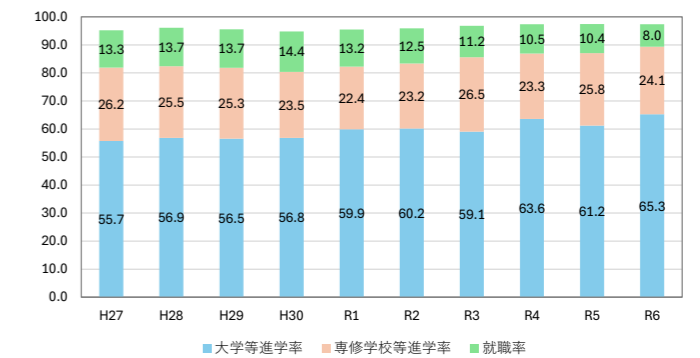
出典：令和6年賃金構造基本統計調査 都道府県別第1表 都道府県、年齢階級別きまって支給する現金給与額、所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額

6. 高学歴女性の市外流出

・姫路市内で働く女性の約半数が中卒・高卒であり、姫路市は、高学歴の女性が働きたいと思える就労先や、受け入れる就労先が少なく、高学歴の女性が市外へ流出していると考えられます。

・中学生の進学率は、直近の10年間でほとんど変動はないものの、高校生の進学率は、直近の10年間で女性が10ポイント以上増加しており、今後も高学歴女性の市外流出等が進むと考えられます。

＜高校生の進学率＞
[女性]



出典：学校基本調査(姫路市)

3. 姫路市の女性就労に関する課題

- ・結婚・出産を経ても離職せずに働き続けられる短時間就労、在宅ワーク等の多様な働き方が求められます。
- ・女性の家庭での家事分担などの負担軽減、家庭や職場での女性就労に対する協力体制づくりが求められます。
- ・女性が活躍している職場や活躍している女性についてのロールモデルを示すことが求められます。
- ・55歳以上の女性への就労継続のための支援や、就労意欲を喚起する取り組みが求められます。
- ・女性の正規雇用の拡大に向けた支援や賃上げ、管理職への登用促進などが求められます。
- ・高学歴の女性が働きたい、働きやすい就労環境の整備と高学歴の女性が活躍できる就労の創出が求められます。